

## 1 猪フェス (校内文化祭)

1月13日(金)に猪フェス(校内文化祭)が開催されました。3年に1度の開催で、当初は12月に予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で冬休み明けに延期となつての実施でした。

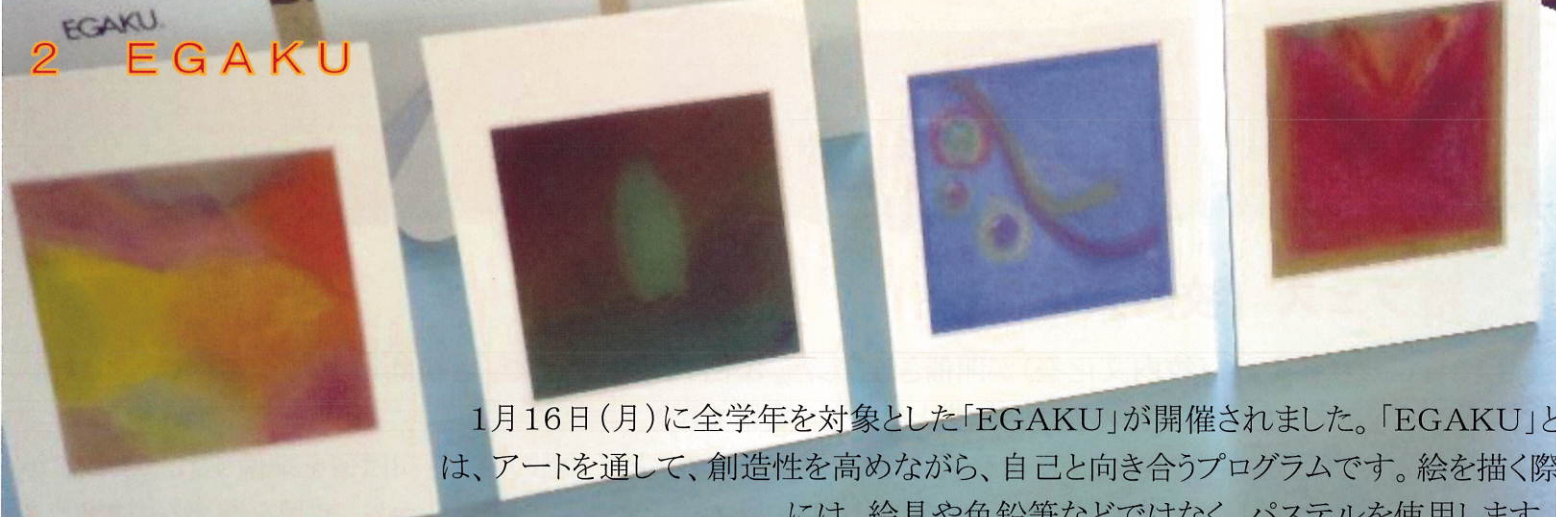
1年生にとっては、全校生の前で何かを発表することが初めてのことで、最初は何を準備すればよいのかわからず、不安になり、戸惑いを感じてスムーズに取り組むことができませんでした。しかし、練習を進める中でクラスの仲も深まり、劇とダンスのステージ発表を行うことができました。また、猪フェス後には、クラスでの練習風景やみんなの思い出を動画で放映し、1年を振り返りました。

2年生は、桃太郎の物語をアレンジした劇に挑戦しました。小道具やストーリーも充実していてクオリティの高い、見応えのあるステージ発表でした。また、教室展示のフォトスポットには、ハート形の風船やライトを使った照明を用い、SNS映えするような可愛いらしい空間となっていました。

3年生は、動画を編集したステージ発表を行い、3年生の絆の深さが十分に伝わる内容でした。自分自身がアプリゲームの主人公となり敵を倒しに行く演出や、校舎内でのホラー映画撮影、ゲーム実況動画など、内容も豊富で最後まで楽しく見ることができました。教室展示の長谷川展覧会は、担任の先生の似顔絵を個性豊かに表現し、3年生の個性が生かされた展示でした。

有志発表では、芸能人のモノマネやKPOPダンス、先生が歌ったり演奏したりと盛り上がり、生徒や教職員の新たな一面を発見することができました。エンディングではお菓子を配るなど、凝った演出も取り入れました。今回のテーマは「紡ぐ」でしたが、準備期間や練習期間が少ない中、クラス全員が一致団結して取り組むことができた充実した文化祭となりました。





1月16日(月)に全学年を対象とした「EGAKU」が開催されました。「EGAKU」とは、アートを通して、創造性を高めながら、自己と向き合うプログラムです。絵を描く際には、絵具や色鉛筆などではなく、パステルを使用します。しかも、指で色を塗り広げながら描いていくのでとても新鮮な体験でした。

私達は「自分が大切にしているもの」というテーマで絵を描きましたが、なかなか手を動かすことができず、みんな頭を悩ませながらも描いていたのが印象的でした。お互いの絵を鑑賞し合い、「絵に吸い込まれそうな感じ」、「唯一無二」、「独創的」などその絵の印象を言葉に表しました。また、プログラムの最後には、自分がお勧めしたい絵を発表する時間があり、なぜその絵を選んだのか、どう感じたかなど感想を述べ、表現することの楽しさや難しさを体験しました。



### 3 学習発表会

2月18(土)に猪苗代町体験交流館「学びいな」で令和4年度生徒学習発表会が開催され、1年を通して取り組んできた「地域探究活動」の研究成果を発表しました。地域活性化へ向けた活動の課題や問題点を再考し、今後の活動へ活かしていきたいと思えます。

「1年生のポスターセッションや、2、3年生の発表を通して、新しい猪苗代町を知ることができた」と発表後のアンケートに書いてありました。私たちの地域探究活動が、地域と学校を結びつけ、猪苗代町の魅力を発展させることに繋がる活動だと改めて実感することができました。



発行者 猪苗代高校活性化委員会  
編集 福島県立猪苗代高等学校

会長 前後 公(猪苗代町長)  
生徒会出版委員会

(生徒たちが作成編集しています)

電話 0242-62-3125 ホームページ <https://inawashiro-h.fcs.ed.jp/>